

宮崎県の重症熱性血小板減少症候群(SFTS)ウイルスに関する遺伝学的解析

微生物部
 ○成田 翼、三好 めぐみ、
 宮原 加奈、水流 奈己、
 吉野 修司、杉本 貴之

1

重症熱性血小板減少症候群

Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome (SFTS)

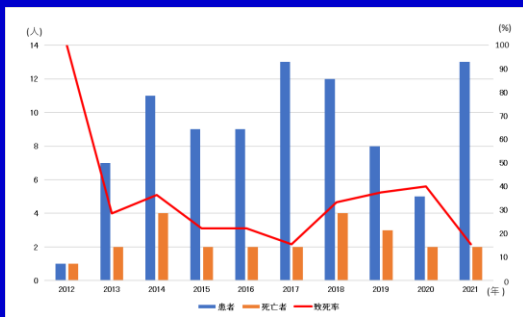
- 原因ウイルス
 プニヤウイルス目フェニユウイルス科
 バンダウイルス属 *Huaiyangshan Banyangvirus*
- マダニ媒介性人獣共通感染症
- 2011年に中国の研究者らにより初めて報告
- 日本国内では、2013年1月に初めての患者を報告



タカサゴキララマダニ

2

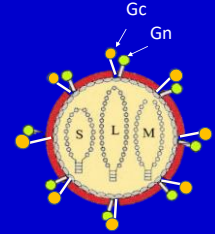
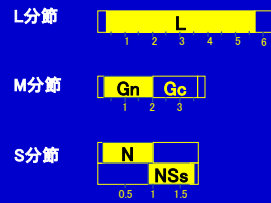
宮崎県におけるSFTSの発生状況



3

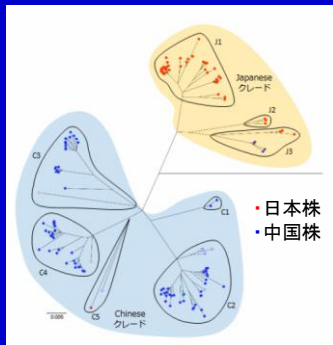
SFTSVの特徴

- マイナス鎖RNAで長さの異なるL分節、M分節、S分節に分かれる



4

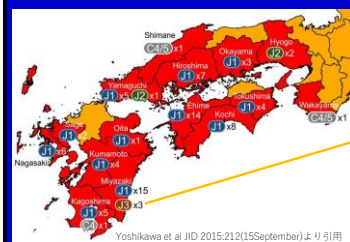
SFTSVの遺伝子型



5

日本国内のSFTSVの遺伝子型

日本型: J1~J3 中国型: C1~C5



J3株は宮崎でのみ確認

6

本研究の目的

- 1 SFTSVゲノムの全ゲノム解析
- 2 病原性・抗原性の差
- 3 マダニのSFTSV保有率
- 4 SFTSVの抗体検査法の確立



SFTSVの人への感染の現状確認

研究方法



NGSによる全ゲノム解析

宮崎県内のSFTSVゲノムの変異の詳細



マダニのSFTSV保有率調査及びゲノム調査

マダニ種・地域・植生とSFTSV保有率の違い



蛍光抗体法・中和試験法の確立

株間の抗原性の違いの確認

7

8

期待される効果

- 1 学術研究への寄与
SFTSVのゲノム構造とウイルスの特性の関係
- 2 感染予防に対する新たな知見
県民への感染予防対策の周知
- 3 新たな検査体制の確立
より正確な検査体制の構築

9